

出張報告書

令和  年 6 月 24 日

会派名 志誠会
会長 立崎 聡一 様

出張者氏名 近藤 憲治 

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和1年6月22日(土) ~ 令和1年6月23日(日) [2日間]						
出張概要	①	月日	6月22日	市町村名	東京	会場	東京・八重洲
		目的	議会改革関連ヒアリング				
		テーマ	・全国各地の市議会議員が取り組む活性化について				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的	移動日				
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

議会改革関連ヒアリング（東京）

日本全国の自治体議員の中で、若手で、かつ、「現代の坂本龍馬」と言えるような改革に取り組む議員が集う「龍馬プロジェクト」の年次総会及び意見交換会に参加し、議会改革に向けた多くの視座を得ることが出来た。定数の削減や議会基本条例の策定、議会報告会の開催など、とにかく「形」が重視されがちな議会改革の取り組みだが、全国の若手議員の多くが感じているのが、「議会改革を進めていったその先に『わがまちが良くなった』という実感を市民に持ってもらえるのだろうか」という素朴な疑問とも懸念とも言えるような感覚である。議会は、「議会改革を進めています」と言うが、それが地域のより良い変化につながっているのか、という自省も込めたやりとりが意見交換でも散見された。しかし、一方で、「現状維持よりは一步踏み出すことが大切」「小さな変化が大きな改革につながる」という印象を持つ議員もあり、まずは、議会改革の旗印のもと、大なり小なりのアクションを続けていくことを確認した。その上で、そのアクションが地域のポジティブチェンジにどう関係しているのかを意識しつつ、達成すべきゴールから逆算した取り組みとする、いわゆる「バックカスティング」的な思考から議会改革に臨んでいくことを共通の認識とすることが出来た。